

平成23年度日本小児外科学会
第7回定例理事会議事録

日 時：平成 24 年 4 月 6 日（金） 11：00～16：00

会 場：東京八重洲ホール 902 号室

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（理事・会長）、岩中 督（理事・副会長）濱田吉則、葦澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、橋本 俊、土岐 彰（以上監事）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、吉澤穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）家入里志、平川 均（以上庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（事務局）

陪席者：黒岩 実（専門医認定委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、北川博昭 理事、松藤 凡 理事とした。
2. 平成23年度第6回定例理事会議事録につき、窪田理事より追加修正の提案があり、全会一致にて承認された。

3. 報告事項

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 Vol. 38No. 2」を受領した。
- (2) 日本医学会からの通信文「日本医学会役員選挙結果について」を受領した。
- (3) 日本麻酔科学会からの寄贈本「Journal of Anesthesia Vol. 26No. 1」を受領した。
- (4) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol. 54No. 6～Vol. 55No. 1」を受領した。
- (5) 難病のこども支援全国ネットワークからの冊子「がんばれ！ Vol. 131・臨時増刊号」を受領した。
- (6) 日本外科学会からの通信文「一般社団法人日本外科学会 移行登記のお知らせ」を受領した。
- (7) 日本専門医制評価・認定機構からの資料「平成 23 年度第 2 回社員総会資料」について、仁尾副理事長（代理出席）より、説明があった。
- (8) 厚生労働省 医薬食品局からの冊子「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 288～289」を受領した。
- (9) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 42No. 3～4」を受領した。
- (10) 日本医学会からのポスター・チラシ「第 13 回日本医学会公開フォーラムの開催案内」を受領した。
- (11) 日本医療機能評価機構からの冊子「ニューズレター2011 年度第 6 号」を受領した。
- (12) 厚生労働省 医薬食品局からの通信文及び冊子「輸血療法の実施に関する指針及び血液製剤の使用指針の一部改正について」を受領した。
- (13) 日本製薬工業協会からの冊子「製薬協ニューズレター2012No. 148、カプセル No. 90」を受領した。

- (14) 厚生労働省 雇用均等・児童家庭局からの通信文「医療ネグレクトにより児童の生命・身体に重大な影響がある場合の対応について」を受領した。
- (15) 厚生労働省医薬食品局からの冊子「医薬品・医療機器等の安全性情報報告の周知」を受領した。
- (16) 日本医師会からの冊子「医療事故調査に関する検討委員会アンケート集計結果報告」を受領した。
- (17) 外科関連学会協議会からの通信文「外科関連学会協議会新規加盟学会のお知らせ」を受領した。
- (18) 日本医学会からの通信文「医学会新規加盟学会について」を受領した。
- (19) 日本医学会からのDVD「第141回日本医学会シンポジウム」を受領した。
- (20) 医学中央雑誌刊行会からの寄贈本「医学中央雑誌 収載誌目録2012」を受領した。
- (21) 日本医学会からのチラシ「石綿健康被害救済制度等の周知について」を受領した。
- (22) 日本専門医制評価・認定機構からのDVD「第3回市民健康フォーラム -安全・安心な医療と専門医-」を受領した。
- (23) 日本移植学会からの通信文「移植認定制度並びに移行措置についてのご協力をお願い」を受領した。
- (24) 外科関連学会協議会「症例報告を含む医学論文及び学会研究発表における患者プライバシー保護に関する指針」に関する持回り審議結果報告」を受領した。
- (25) 外科関連専門医制度委員会からの資料「専門医の在り方に関する第6回検討会」について報告された。
- (26) 健やか親子21推進協議会について、北川理事より資料を基に、日本小児外科学会が参加団体に加盟したことが、報告された。

4 審議事項

1) 第49回学術集会について（上野会長）

上野会長より、機関誌第48巻第3号へ掲載する資料を基に、プログラム内容の説明、およびサテライトセミナー・市民公開講座の説明があり、承認された。

また、第49回学術集会ホームページ（英語版）を学会ホームページ（英語版）とリンクさせることが提案され、国際・広報委員会にて対応することとなった。

2) 第50回学術集会について（岩中副会長、北川理事）

北川理事より3月に開催されたWOFAPS理事会で、ISWと第50回学術集会のジョイントミーティングが承認されたことが報告された。具体的な開催法方法については、継続審議事項とした。

3) 第28回秋季シンポジウムについて（田口理事長）

田口理事長より、資料を基に、準備状況が報告され、承認された。

4) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

平成24年3月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,887名（うち海外4名）、評

議員 293 名、名誉会員 57 名（うち海外 9 名）、特別会員 57 名（うち海外 1 名）の合計 2,294 名である。

また、評議員選挙オンライン化に伴う定款施行細則改定案につき、資料を基に説明があり、改訂案のうち、「学会ホームページ上で」を削除、さらに第 30 条の「機関誌」を削除することが提案され、承認された。

5) 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・平成 23 年度会計決算（暫定）報告が資料に基づいてなされた。
- ・平成 24 年度予算書（案）が資料に基づいて、提案され、継続審議事項とされた。
- ・前回第 6 回理事会にて、第 48 回学術集会時に開催された委員会会場費・委員会費についても、20 万を上限として学会から支出することを土岐前会長へ依頼することとなったが、再審議の結果、実費を学会から支出することとなった。

なお、学術集会時に開催された委員会会場費・委員会費について、学会からの支出上限を 20 万円とし、委員会の際の食事や飲み物は準備しないとするルールについては、第 49 回学術集会から適用とすることが確認された。また、会長は仮に学術集会財政に余裕があっても、委員会開催時の飲食などの提供は行わないこととする。

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

- ・次回機関誌委員会にて、平成 23 年度の投稿論文の中から以下論文を表彰することが提案され、承認された。

① 著論文

畑中 玲、中原さおり、石田和夫：食道閉鎖症術後吻合部狭窄に対する triamcinolone acetonide 局所注入の有効性. 第 47 巻 5 号、821-826

② 症例報告

1)橋詰直樹、飯沼泰史、内藤真一、新田幸壽、平山 裕：体重 5k g 未満で gastric transposition を施行した B 型食道閉鎖症の 1 例. 第 47 巻 2 号、269-273

2)富田紘史、下島直樹、有末篤弘、高里文香、森 昌玄、山本裕輝、瀧本康史、星野 健、津崎晃一、森川康英：総排泄腔奇形根治術後遠隔期に発症し、診断に苦慮した慢性腹痛・腹壁痛：ACNES(abdominal cutaneous nerve entrapment syndrome)の 1 例. 第 47 巻 6 号、948-952

- ・学生からの投稿論文については、学会員の推薦があれば投稿可能とする案が提案され、承認された。
- ・機関誌の投稿にあたって利益相反の自己申告書(案)(和文・英文)について、提案され、承認された。

(2) 国際・広報委員会

田口理事長より資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

- ・カンボジアの小児外科への本会からの支援事業として、岡松先生が関わってこられた途上国支援の紹介をし、さらにカンボジアを現状視察することも視野に検討を続けていく。
- ・学会ホームページについて、レイアウトを全面的に変更することを検討しており、ある程度の費用がかかることを想定に入れ、具体的な変更案を作成していくこととした。
- ・次回は2012年5月16日に委員会を開催予定である。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より以下の通り報告、提案があり、承認された。

- ・平成24年度診療報酬改定につき、以下結果となったことが報告された。

- 1) 日本外科学会からの要望結果として同一手術野（同一皮切）における複数手術の加算の適応拡大

手術術式（主たる手術）	手術術式（従たる手術）
鎖肛手術	造脛術、脛閉鎖症術
腹腔鏡下脾摘出術	腹腔鏡下胆嚢摘出術
噴門形成術	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む）
小腸切除術	ヘルニア手術
小腸切除術	腸管癒着症手術
結腸切除術	腸管癒着症手術

- 2) 要望以外の改定内容として、A301-4 小児特定集中治療室管理料、PICU管理料が新設されたが、施設基準が厳しく（8床以上）、残念ながら多くの施設では算定不可。

K000-2 小児創傷処置（6歳未満）について、筋肉、臓器に達しない創傷に対して、ボンド又はテープを用いて創傷処理を行った場合は、算定してよいとなった。（ダーマボンドによる創傷処置は、これまで認められなかったものが、今回より認められるようになった）

処置については、J022 高位浣腸、高圧浣腸、洗腸が45点→65点に増点（3歳未満の乳幼児では、これまでの50点加算を加えると95点→115点に増点）

- ・平成24年2月20日に外保連総会にて、平成23年度収支計算書が報告され、その後平成24年度収支予算書案に関し審議の後承認された。監事より、財務状況を考えて、会費値上げ（現在1学会年間20万円）か、支出削減を検討しないと2年後に破綻する恐れがあることが指摘され、財務委員会で検討することとした。また日本小児泌尿器科学会を含む4学会からの外保連新規加盟申請が報告され、審議の上、承認された。

(4) 教育委員会

松藤担当理事より第49回学術集会時に開催される内視鏡手術セミナーの開催について、受講料を徴収しない形での開催となるため、テキスト作成および会場設備費として10万円の経費を学会から支出してほしい旨、提案され、承認された。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・追跡調査解析の終了した2000年までの登録用紙は、各地区センターで破棄すべきものであるため、各地区センターごとに破棄する。
- ・年次解析集計結果の詳細のHP掲載に関して、会員からの要望である年次登録解析の閲覧は、国立情報学研究所の運営する論文情報ナビゲータCiNiiから、個人的に閲覧をお願いすることとする。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・第48回演題集を作成し、現在、委員会内審議中である。
- ・会員ページに『手術動画配信』を作成し第47回の9作品と第48回の8作品を公開した。
- ・日経メディカルから救急処置に関する特集の中でボタン電池、特にリチウム電池の誤飲に関して小児外科学会に取材依頼があった。以前に学術委員会（岡松理事、山本委員長）が対応し、その内容が、『リチウム電池に関する警告』として一般の皆様へのページ、小児外科トピックスに2001. 2. 9付けで掲載されているので、今回も当委員会に回答依頼があり、河野委員長が1月20日に取材を受けた。

日経メディカル2, 2012の特集「応急処置 11の誤解」の「異物摂取」の項目、「リチウム電池誤飲は要注意」の章でボタン電池誤飲の危険性と、対処法について掲載された。

- ・会員ページの「手術動画配信」からさらにID、パスワードの必要なくビデオが閲覧できるように、かつ会員ページ以外からの侵入を制御できるようにするには、動画ページのURL自体に、アクセスするための認証制限をかけるのがよい。本仕様を作成するにあたり、方法および見積金額が10万円との提示が出されているが、ビデオ閲覧がより普及させるべく、作業を進めることが提案され、承認された。

(7) 倫理・安全管理委員会報告

菰澤担当理事より、以下の通り報告、提案され、承認された。

- ・臨床研究の利益相反に関する指針案および指針運用規則案、役員等の利益相反自己申告書案、利益相反の開示用スライド雛形案、機関誌掲載用利益相反自己申告書案等につき、学会ホームページ上にて、1か月間の意見募集をした。

その結果、自己申告書の「その他の報酬：100万円を超える場合」とあるが、他学会は「5万円を超える場合」となっており、小児外科学会はどうするのか、との

意見があり、他学会に準じて「5万円を越える場合」に変更することとする。

(8) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告、提案され、承認された。

- ・小児外科医のための小児救急症例の勉強会（セミナー）を第49回学術集会の際（5月14日18:00～19:00）に開催することが提案され、承認された。
- ・第49回学術集会時のPALS講習会参加申込は、引続き募集する。

(9) データベース委員会

前田担当理事より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・オンラインによるNCDデータとの連携について、セキュリティ上、より良好な管理をするため、従来の学会で保存しているデータのうち、専門医および指導医申請に必要な手術数のデータ（数値のみ）をNCD側にて保管・管理したいとの申入れがあった。なお、このシステム開発には特別なコストは発生しないことが確認され、NCD側にて保管・管理していくことが承認された。
- ・NCD側に、従来の学会で保存しているデータのうち、専門医および指導医申請に必要な手術数のデータ（数値のみ）を移行する際に、当該データを抽出・加工する費用として20万円（ミック大阪）が発生する見積であることが報告され、承認された。

7) 総合調整委員会報告および審議事項（仁尾委員長）

仁尾委員長より以下の通り、報告され、承認された。

- ・教育委員会で作成した医育機関あてのアンケート調査用紙(案)について、内容を審議し、修正を依頼した。
- ・医師以外（医学生を含む）の入会が可能な仕組みを準備する上で、本学会の定款で学生を含む医師以外の本学会入会が認められているが、現行の入会申請フォームで医籍登録番号の記載が求められているため、入会申請のフォームを変更し、理事会で入会希望者の目的等を審査して入会が可能な仕組みを整える。
ただし、そのためには定款の改定が必要となること、入会しなくても学生の学会への参加や機関誌への投稿を可能にすることによって、医師以外の入会希望者が多数となる可能性が高くないことなどから、当面新たな会員種別を新規設定はせず、今後学生や準会員として想定される看護師などの学術集会参加人数や論文投稿数の動向を見て、検討していくこととする。
- ・男女共同参画につき、さらなるポジティブアクションをとるために、現状を把握する必要があり、学男女共同参画に関するアドホック委員会を作って審議していくことが提案され、窪田正幸理事を担当理事として委員候補者を検討することが承認された。
- ・市民公開講座を今後については、従来の講演型ではなく参加型とすることで参加者が増え、小児外科を市民に広報するよい機会となる可能性が期待できる。また国民生活

運動「健やか親子 21」への参加が決まり、そのテーマに基づいて講座を開催することができるため、その成果を評価して、今後の継続の可否を検討することとする。

8) 会員管理システムについて (小室庶務委員長)

小室庶務委員長より、資料に基き、評議員選挙オンラインシステムについて、システム構築に必要な要件定義最終版が報告され、承認された。

9) 専門医制度規約改定について (専門医認定委員会 黒岩委員長)

専門医認定委員会黒岩委員長より、資料に基づき、小児外科専門医新規・更新申請において、申請要件案として、外科専門医を要求していくこととしているが、外科専門医以外に、外科認定登録医を要件として加えるべきかどうか、提案された。

審議の結果、外科専門医の資格を有さず、外科認定登録医資格のみを有している者が小児外科専門医新規・更新申請をし、合格した場合に、外科専門医資格を同時取得できないような不利益を出さないため、小児外科専門医新規・更新申請の要件として「外科専門医または日本外科学会認定登録医」と改訂していくことで承認された。

ただし、小児外科専門医の申請の時に外科専門医でなくても、日本外科学会認定登録医であれば小児外科専門医を取得した時点で、外科専門医を取得できるという議論は、日本外科学会と明確に取り決められている状態ではないため、来る4月26日に外科専門医制度委員会の際に本件に関する合意を明確にする予定であることを申し添える。

10) その他

田口理事長より日本専門医制評価・認定機構「役員(理事・監事)選考に関する推薦」について資料に基いて報告があり、審議の結果、本会からは推薦をしないこととなった。

11) 名誉会員・特別会員の推戴について

審議の結果、以下の先生方を本年度推戴候補者として評議員会に諮ることとなった。

特別会員推戴候補者：大塩猛人先生、大浜用克先生、大浜和憲先生、高橋正彦先生、
長谷川史郎先生、藤原利男先生

12) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成24年5月13日(日)10:00~14:00パシフィコ横浜アネックスホール会議室1にて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____